



図書館だより 11月号

発行日 2017年

発行 戸塚高校図書委員会



11月15日に作家トークを行いました。

グループごとに作家について調べ班の中で発表し

模造紙にまとめました。

多目的ホールの横に貼っています。

委員が調べた中でよかった作品を今月から1月の

図書館だよりまで載せていきます。

今月は泉鏡花とカズオ・イシグロを紹介します。



泉鏡花

大の清潔症!!

泉鏡花

1873年(明治6)年11月4日～1939(昭和14)年9月7日。肺がんで自宅で死亡。

本名は泉鏡太郎。出身は石川県金沢市。江戸文芸の影響を受けたロマン主義の作家として知られる。加賀藩細工方白銀職の系譜に属する象眼細工・彫金等の職人である泉清次と加賀藩御手役者の末娘で江戸生まれの鈴との間に生まれる。鏡太郎が9歳の時に母が次女や



糸の出産直後に産褥熱のため死去し、鏡太郎は幼心に強い衝撃を受けた。市内の養成小学校に入学し、高等小学校、ミッションスクール北陸英和学校を学ぶが、退学によって私塾に通った。1889年に友人の下宿において尾崎紅葉の『二人比呂 色懺悔』を読んで衝撃を受け、文学を志すようになった。2年の月日が経って牛込の紅葉宅を訪ね、快く入門を許される。1893年に処女作で真土事件を題材にした『冠弥左衛門』を連載。しかし翌年に父が逝去すると生活の術を失い、文筆をもって米や塩を得ようとする。自身ももともと病気により体調が優れなかったが、読売新聞に作品が連載されるようになり、デビューから2年で『文芸倶楽部』の巻頭に『外科室』が連載された。次々とヒット作品を刊行していくうちに泉鏡花という文名は確立し、1910年には『袖珍本鏡花集』まで発行された。戯曲、映画など様々な分野にも進出していく。世間から評価された彼の文学の原点は、幼いころに亡くした母にあると言われている。浪漫や幻想の世界を小説や戯曲でまとめ、総作品数は300を超え、文豪と称えられ、天才とも謳われるようになり、現在も多くの人にその作品が愛されている。

代表作 夜行巡査(1895)、外科室(1895)、照葉狂言(1896)、高野聖(1900)、婦系図(1907)
歌行燈(1910)

参考文献：Wikipedia

カズオ・イシグロ

経歴

- 1954.11.8. 長崎県で海洋学者の父・石黒鎮雄と母・静子の間に生まれる。長崎市内の幼稚園に通う。
- 1960 父の仕事の都合でサリー州・ギルドフォードに移住。現地の小学校に通う。
- 1978 ケント大学英文学科に進む。
- 1980 イースト・アングリア大学大学院に進み、作家のマルカム・ブラットベリの指導を受け、小説を書き始める。
- 1982 『女たちの遠い夏』で王立文学協会賞を受賞。9ヶ国語に翻訳される。
- 1986 『浮世の画家』でウィットブレット賞を受賞。
- 1989 『日の名残り』でブッカー賞を受賞。(35歳)
- 1995 『充たされざる者』を出版。
- 2000 『わたしたちが孤児だったころ』発売。
- 2005 『わたしを離さないで』を出版。ブッカー賞の最終候補に残る。『上海の伯爵夫人』の脚本を担当。
- 2015 『忘れられた巨人』を出版。
- 2017 ノーベル文学賞受賞。



受賞理由

壮大な感情の力を持った小説を通し、世界と結びついているという、我々の幻想的感覚に隠された深淵を暴いた。

ブッカー賞：英の文学賞。世界的に権威のある文学賞のひとつ。その年に出版された最も優れた長編小説に与えられる。

ウィットブレット賞：現在の Costa 賞。イギリスまたはアイルランド在住の作家に与えられる英語文学賞。スポンサーがウィットブレットから Costa コーヒーに変わったことで改称した。

作品

『女たちの遠い夏』→『遠い山なみの光』に改題

イギリスに住み、娘の自殺という事態に遭遇した悦子は自分が生きてきた道を回想する。裏切りの記憶、子殺しの幻影、淡く光った山並みの残像…戦後の長崎を舞台に、戦争と戦後の混乱によって傷ついた人々の苦しみを描く。

『浮世の画家』

戦時中、日本精神を鼓舞する作品で名を成した画家の小野。多くの弟子に囲まれ、大いに尊敬を受ける地位であったが、終戦を迎えたとたんに、周囲の目は冷たくなった。小野は引退し、屋敷にこもりがちに…。自分の画業のせいなのか…老画家は過去を回想しながら自らが貫いてきた信念と新しい価値観のはざまに揺れる。

『日の名残り』

品格ある執事の道を探求し続けてきたスティーブンスは短い旅に出た。美しい田園風景の道すがら様々な思い出がよぎる。長年仕えたダートソン卿への敬慕、女中頭への淡い思い、2つの大戦の間に邸内で催された重要な外交会議の数々…過ぎ去りし思い出は、輝きを増して胸の中で生き続ける。

『わたしを離さないで』

自他共に認める優秀な介護人 キャシー・H は提供者と呼ばれる人々を世話している。キャシーが生まれ育った施設 ケールシャムの仲間も提供者だ。共に青春の日々を送り、固い絆で結ばれた親友の ルースと トミーも彼女が介護した。キャシーは病室のベッドに座り、あるいは車を走らせながら施設での奇妙な日々を思いを巡らせる。図画工作に極端に力を入れた授業、毎週の健康診断、保護官と呼ばれる教師たちの不思議な態度、そしてキャシーと愛する人々がたどった数奇で皮肉な運命に…彼女の回想は驚くべきヘールシャムの真実を明かしていく。

参考文献：Wikipedia, Amazon, 東洋経済 ONLINE

